

2024 年 7 月

関係各位

(一社) 日本エルピーガス供給機器工業会
調整器技術 WG
ホース技術 WG

容器交換時の注意事項について

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊会では 2017 年 1 月以降、締付トルクの安定を目的に手締め方式の調整器及び高圧ホースの POL ニップルの先端を O リングに交換いたしました。従来の角リングから形状が変更されたことから、改めてその取扱いについて周知させていただきたく存じます。

別紙をご参照のうえ、正しい取扱いにご協力賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

謹白

別紙

容器交換時の注意事項について（供給機器関係）

1. O リングの交換

O リングは交換部品です。容器交換や保安点検の際には O リングの状態を確認し、下の写真のような劣化がみられた際は、すみやかに交換してください。

交換用の O リングは、調整器、高圧ホースメーカー各社にてご用意しておりますので、当該メーカーの O リングのお取り寄せをお願いします。

なお、2016 年以前に製造された角リングが取り付けられている製品についても同様に
お取扱いください。

		
割れ（オゾン劣化）	擦り切れ	噛み込み

2. 容器交換手順の遵守

上記写真のような O リングのめくれ（損失）について、お問合せをいただいております。お問合せいただいた LP ガス販売事業者様とともに再現確認をしたところ、調整器や高圧ホースを完全に接続し終わる前に LP ガス容器バルブを開くことで当該事象が発生することを確認いたしました。

容器交換をする際は、必ず調整器や高圧ホースを完全に接続した後に LP ガス容器バルブを開けるようにしてください。

なお、調整器や高圧ホースの POL ハンドルの締付トルクの推奨値は $3\sim 8\text{N}\cdot\text{m}$ となっております。

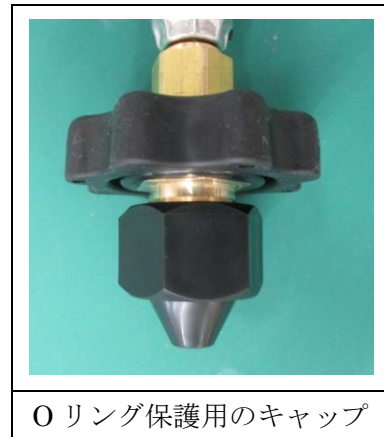
また、容器交換の際にガス放出防止型高圧ホースを作動させて容器交換を行わないでください。容器交換の度に繰り返しガス放出防止機構を作動させることにより、ガス放出防止機構の故障につながるおそれがあります。

一方、集合装置を使用した LP ガス設備の容器交換を行う際は、必ず逆止弁付根元バルブを閉じて容器交換を行ってください。根元バルブを閉めずに逆止弁を作動させる方法で容器交換を繰り返すと、根元バルブに内蔵されている逆止弁の故障につながります。

3. Oリングの放置の禁止

近年、残置容器（LP ガス未使用施設の LP ガス容器）の回収が推進されております。容器を交換した際に供給機器を放置すると、前出の写真のような O リングの割れ（オゾン劣化）をはじめ、調整器、高圧ホースのゴム部品の劣化が促進されます。

残置容器を回収する際は、①高圧ホースを取り外して調整器（又は逆止弁付根元バルブ）にプラグをねじ込む、②高圧ホースの先端に写真のようなキャップを取り付ける——のいずれかの対応をお願いします。



以上